



Phore Masternode セットアップガイド

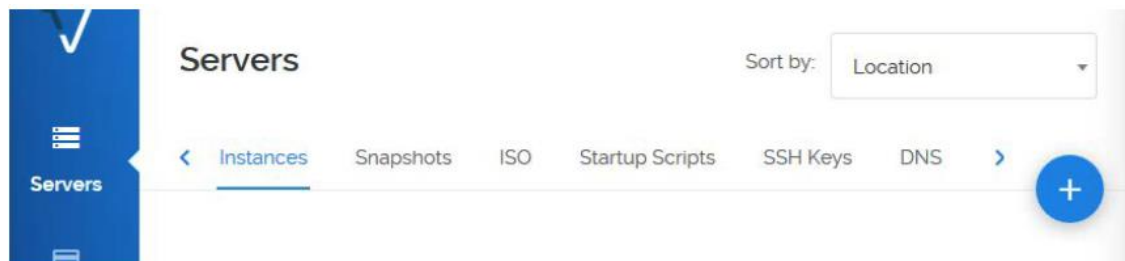
必要なもの

1. Windows の PC
2. VPS のような固定 IP を持つリモートサーバー
3. VPS の設定ができる Teraterm
4. 10,000PHR

ここでは複数のマスターノードの構成が簡単な Vultr を例として説明します。

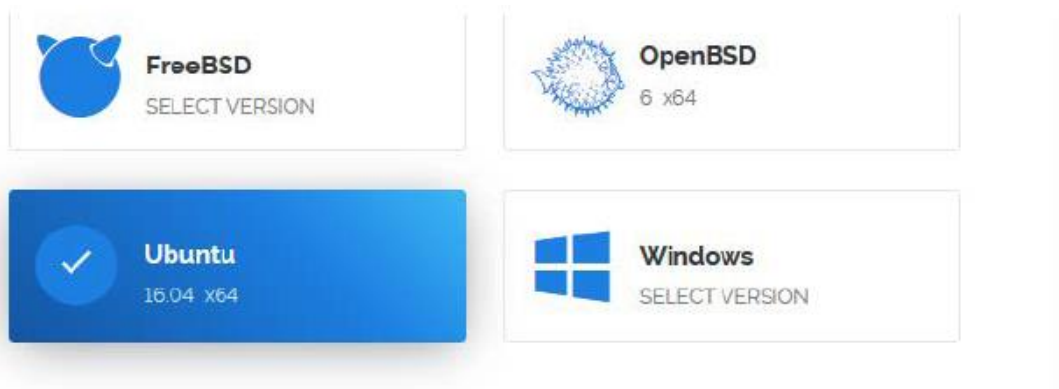
<https://www.vultr.com>

まずは Vultr でアカウントを取得し、VPS を契約しましょう。



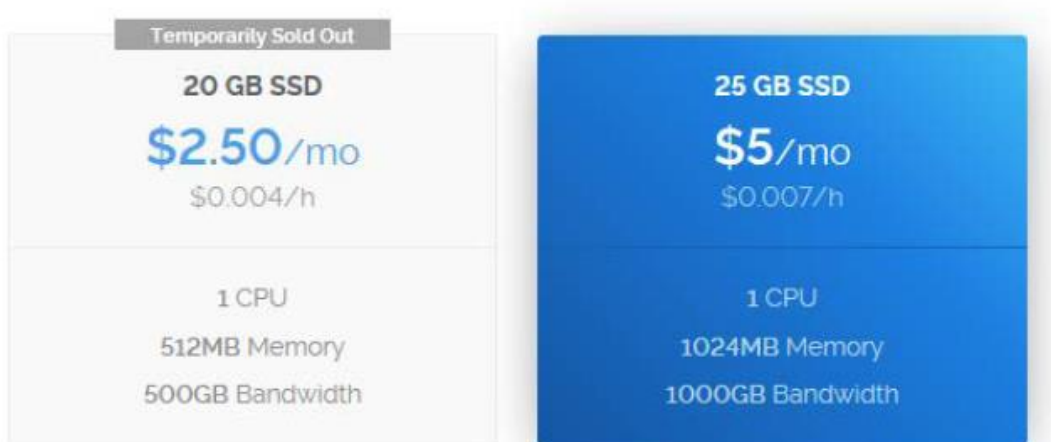
Server Location ではどこを選択してもかまいません。

Server Type は Ubuntu 16.04 x64 を選択しましょう。



Server Size は 1GB のオプションを選択します(注:ここでは VPS のサーバー上でコンパイルする都合を考えているため 1GB を選択していますが、そうでない場合は 512MB を選択されても大丈夫です)。

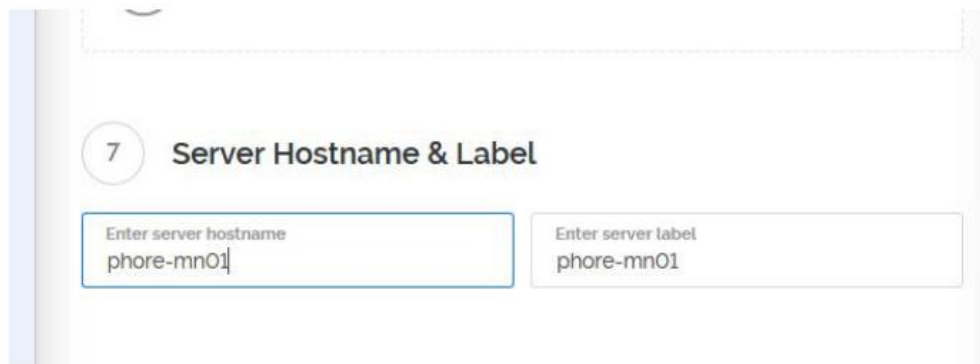
Server Size



この時点で SSH key を設定できます(root に対して)が、ここでは不要です。

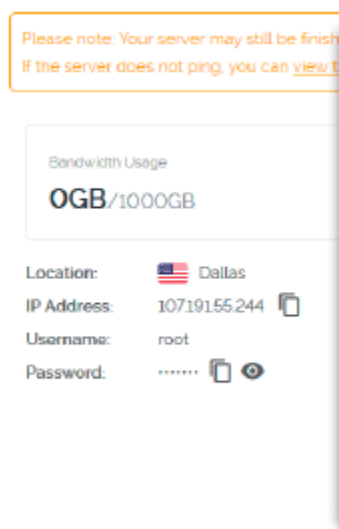
最後に Server Hostname & Label を決定します。

複数立てることを考慮し、phore-mn01 としておきます。



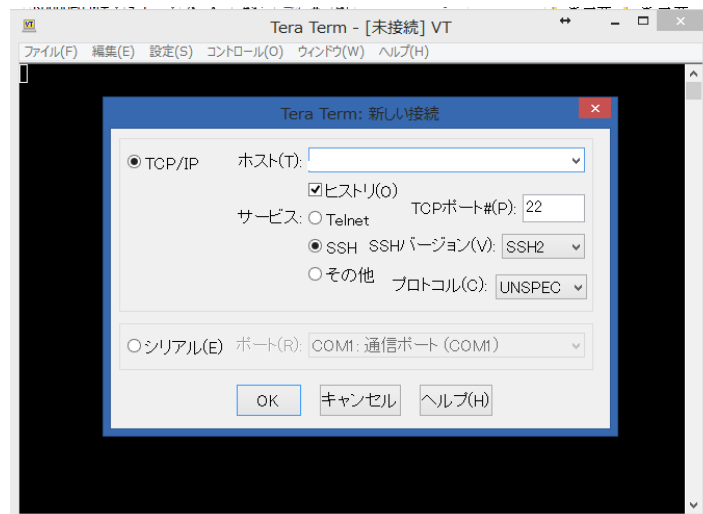
The screenshot shows a configuration page titled "7 Server Hostname & Label". It contains two input fields. The first field, labeled "Enter server hostname", contains the text "phore-mn01". The second field, labeled "Enter server label", also contains the text "phore-mn01".

これでサーバーの契約が完了しました。すぐに新規サーバーの情報が更新されます。



The screenshot displays server details. At the top, a note in an orange box says: "Please note: Your server may still be finishing setup. If the server does not ping, you can view the status." Below this, a box shows "Bandwidth Usage" as "0GB/1000GB". Further down, the following information is listed: "Location:" with a US flag and "Dallas", "IP Address:" with "10719155.244" and a copy icon, "Username:" with "root", and "Password:" with masked characters and copy/eye icons.

契約した VPS サーバーが instance のタブをクリックすれば表示されると思いますので、詳細情報を表示し、IP アドレスを使ってログインをしましょう。



ホストの認証情報が〜というウィンドウが立ち上がった場合、OK を押してください。

最後に、Linux のウォレットについてマスターノードの設定を行います。(Teraterm を開きます)

次のコマンドを一行でコピーペーストしてください(ペーストは Teraterm のウィンドウ上で右クリックすることで行えます)。ペーストしたらエンターキーを押しましょう。

```
curl https://raw.githubusercontent.com/liray-unendlich/phore-masternode-automation/master/JPN-masternode-setup.sh | bash -s -- -i -g  
-v 1.2.2
```

あとはスクリプトが自動でウォレットのインストールや設定を行います。

最後に文字列を出力しますが、それまで 10 分ほどかかりますので teraterm は開いたまま、先に Windows 上でのウォレットの設定を行います(最後に長めの文字列が出力されますので、それを一行で表示するため、ここで Teraterm のウィンドウのサイズを横に広げておきましょう)。

Windows ウォレットでの Masternode の設定

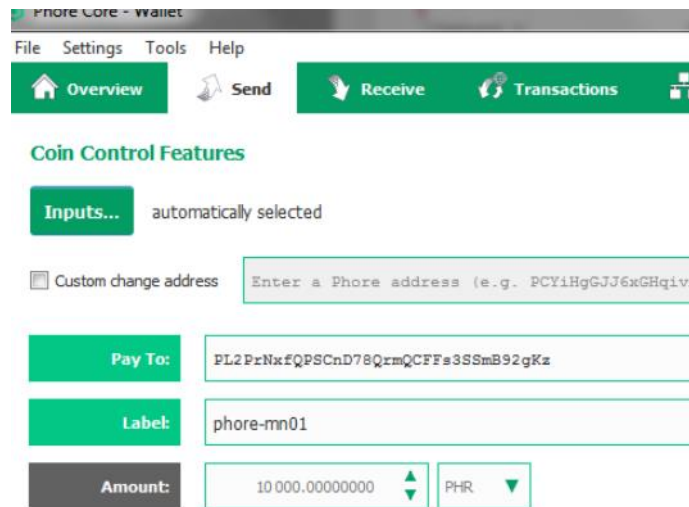
ステップ 1

Phore-qt を起動しマスターノード用のアドレスを生成しましょう。Receive タブを表示してください。Label にアドレスの名前を記入し、Request payment ボタンを押してください。

The image shows the 'Phore Core - Wallet' application window with the 'Receive' tab selected. The 'Receive' tab contains a form for requesting payments. The 'Label' field is filled with 'phore-mn01'. The 'Amount' field is empty, and the 'Unit' dropdown is set to 'P-R'. The 'Message' field is empty. Below the form, there is a checkbox for 'Reuse an existing receiving address (not recommended)' which is unchecked. The 'Request payment' button is highlighted. Below the form, there is a section titled 'Requested payments history' which is currently empty.

Below the main window, a 'Request payment to' dialog box is shown. It displays a QR code for payment. Below the QR code, the 'Payment information' is listed: 'URI: phore-PSE=8u24', 'アドレス: PSE', and 'Label: phore-mn01'. The dialog box also shows the address 'd3SPvEK'. At the bottom of the dialog box, there are buttons for 'Copy URI', 'Copy Address', 'Save Image...', and 'Close'.

こんなウィンドウが出てくるはずです。Copy Address ボタンを押してから、Close ボタンを押しましょう。これでアドレスがコピーできたので、Send タブへ移動してコピーしたアドレスを Pay To: の入力欄へペーストします。

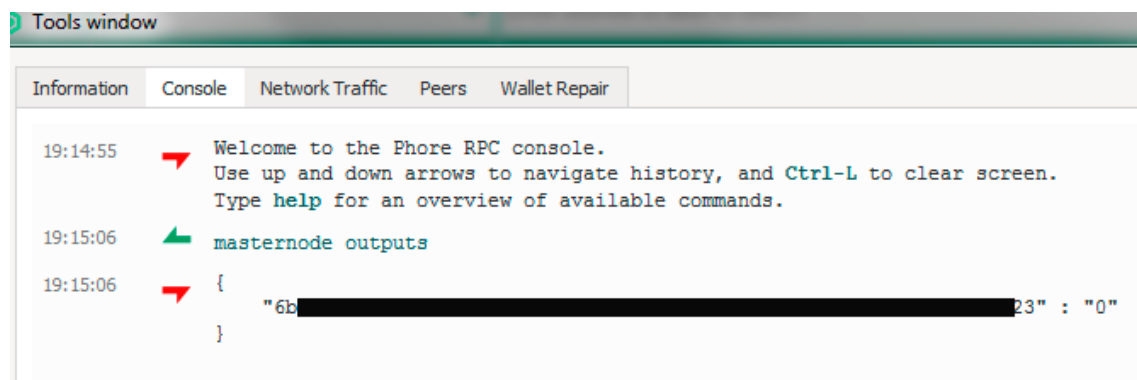


送金額にはぴったり 10,000PHR を指定してください。入力完了したら、Send ボタンを押して、送金しましょう。ブロックチェーン上での送金の確認のため、1~2 分ほど待ちましょう。

ステップ 2

その後デバッグコンソールに次のコマンドを打ち、エンターキーを押してください。

masternode outputs



masternode outputs の結果は

```
{
  "(英数字)": "整数"
}
```

となるはずで。前者はトランザクションハッシュで、後者はインデックスです。

ステップ 3

マスターノードの設定ファイルを記録する必要がありますので、ウォレットより **ツール > マスターノードの設定ファイルを開く** を選択してください。

そうすると次のようなテキストファイルが開くはずです。

```
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
# Masternode config file
# Format: alias IP:port masternodeprivkey collateral_output_txid collateral_output_index
次に、Teraterm を開き、次のような画面が出るまでお待ちください。
```

```
ファイル(F) 編集(E) 設定(S) コントロール(O) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)
{
  "1" : 0.00000000,
  "5" : 0.00000000,
  "10" : 0.00000000,
  "50" : 0.00000000,
  "100" : 0.00000000,
  "500" : 0.00000000,
  "1000" : 0.00000000,
  "5000" : 0.00000000,
  "total" : 0.00000000
},
"keypoololdest" : 1521880574,
"keypoolsize" : 1001,
"paytxfee" : 0.00000000,
"relayfee" : 0.00010000,
"staking status" : "Staking Not Active",
"errors" : ""
}
同期が完了すれば、phore-qtのウォレットからマスターノードを実行できます！
最後に、masternode.conf の例をお見せします。こちらをご利用ください。
#n
phore-MN01 45.76.221.26:11771 88jxMnxGERCrRGj2mstLDmhi3GFgFikJRCBGPDUSo8VZoK6SzEd TRANSACTION_ID TRANSACTION_INDEX
#n
コマンド cat tmp_masternode.conf を入力することで再度表示可能です。
```

このような画面になったら、下のほうに表示されている

```
phore-MN01 45.76.221.26:11771 88jxMnxGERCrRGj2mstLDmhi3GFgFikJRCBGPDUSo8VZoK6SzEd TRANSACTION_ID TRANSACTION_INDEX
```

に注目してください。これを先ほど開いたテキストファイルに一行で入力する必要があります。

例：

```
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
# Masternode config file
# Format: alias IP:port masternodeprivkey collateral_output_txid collateral_output_index
phore-MN01 45.76.221.26:11771 88jxMnxGERCrRGj2mstLDmhi3GFgFikJRCBGPDUSo8VZoK6SzEd TRANSACTION_ID TRANSACTION_INDEX
```

ただ、ここではまだ先ほどデバッグコンソールで出力したトランザクションハッシュ、インデックスを入力していないので、ステップ2の結果を入力しましょう。今回のガイドのデータでは、次のようになるはずです(もちろん皆様がガイドに沿って設定される際は、違うデータが使われます。形式が間違っていなければ問題ありません)。

```
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
# Masternode config file
# Format: alias IP:port masternodeprivkey collateral_output_txid collateral_output_index
phore-MN01 45.76.221.26:11771 88jxMnxGERCrRGj2mstLDmhi3GFgFikJRCBGPDUSo8VZoK6SzEd 6b1bf782959f1a90f43dad9c20ae6ec9b15573bf4e235f659266ef050412d23 0
```

このように入力したら、保存しましょう。保存ができれば、ウォレットを起動しなおしてください。ウォレットを起動しなおして、マスターノードタブを開くと、今設定したマスターノードが表示されているはずです。

Teraterm に戻りましょう。先ほどの画面の上のほうに、下のような文字列が表示されているはずです。

```
{  
"version" : 1020200,  
"protocolversion" : 70002,  
"walletversion" : 61000,  
"balance" : 0.00000000,  
"zerocoinbalance" : 0.00000000,  
"blocks" : 259410  
"timeoffset" : 0,  
"connections" : 4,  
  "proxy" : "",  
"difficulty" : 55081.20347808  
"testnet" : false,  
"moneysupply" : 11383323.47511478  
...}
```

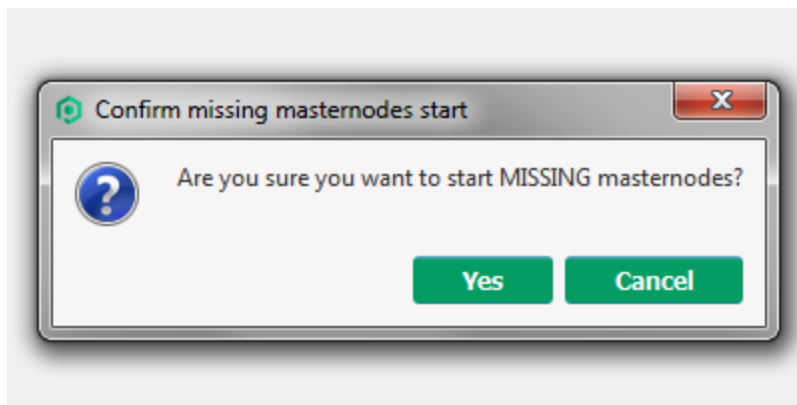
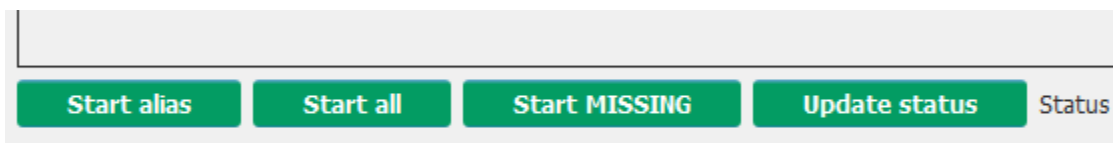
のような表示が出ます。これはウォレットの同期の状況を表しています("blocks"がブロック数です)。同期が完了するまでマスターノードをスタートできないので、しばらくお待ちください。現在の同期の状況は、

phore-cli getinfo

と Teraterm でコマンドを入力することで上の形で得られます。デスクトップウォレットの右下のチェックマークにマウスカーソルを合わせることで、



現在のブロック数がわかるはずです。ブロック数が同じになったら、いよいよマスターノードをスタートさせましょう。ウォレットのロックを解除した後、Masternode タブを開いてください。実行させたいマスターノードをクリックしてください(ハイライトされて選択を確認できます)。その後 **Start alias** か **Start MISSING** ボタンを押してください。



このようなウィンドウが出たら、Yes を選択してください。

マスターノードの起動に成功した場合 successfully started と表示されるか、そのままウォレットに戻ります。もしエラーを受け取ったら、デバッグコンソールを開き

startmasternode alias false マスターノードの名前

(マスターノードの名前は phore-mn01 など masternode の設定ファイルに記載した最初の項です)

と打ちましょう。成功すれば以下のように表示されます。

```
{
  "overall" : "Successfully started 1 masternodes, failed to start 0, total 1",
  "detail" : {
    "status" : {
      "alias" : "phore-mn01",
      "result" : "successful"
    }
  }
}
```

マスターノードの実行の様子は Masternode タブで確認できます。

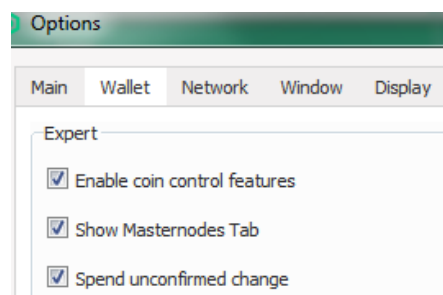
in local wallet can potentially be slightly incorrect.
tional data and then double check from another node
you still see "MISSING" in "Status" field.

Address	Protocol	Status	Active	Last Seen
.771	70001	ENABLED	00m:00s	2017-09-28 19:

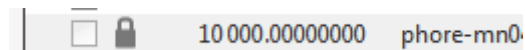
起動した直後、Active 時間は増えませんが、3 時間ほど後に見ていただければ変化しているはずです。
マスターノードは VPS 上で自動的に動作しているので、Windows 上のウォレットは閉じてかまいません。

最後に担保として使用している 10,000PHR がロックされていることを確認しましょう。

まず Coin Control 機能を有効化するため、**[Settings > Options > Wallet]** より Enable coin control features にチェックを入れてください。



その後 Send タブに戻っていただければ、新しく Inputs… というボタンが追加されています。これを押してください。



ロックされていれば、上図のような表示になっているはずです。もしロックされていなければ、10000PHR の部分を右クリックして、Lock Unspent を選択することでロックできます。逆にロックを外したければ、右クリックして Unlock Unspent を選択していただくことでロックを解除できます。

複数マスターノードを実行されたい場合には、それぞれ別の VPS サーバーを用い、別の IP、別のアドレス、別のプライベートキーを使って同様の手順で構成できます。

もし起動しなければ、discord の日本人チャンネルにいる liray までご連絡下さい。自分は日本人なので、言語の壁もなく対応できます。

良いマスターノードライフをお楽しみください。

FAQ

- マスターノードの数はどうやってわかるの？

デバッグコンソールにて “masternode count” と入力してください。そこで出力された数がマ

スターノードの数です。

- 一気にマスターノードを起動したい。
“startmasternode all false” とデバッグコンソールで入力してください。Masternode.conf 内のすべてを実行します

ご不明点があれば何なりとご質問ください。Discord の Phore チャンネルの日本語チャンネルにてお待ちしております。

Discord: <https://discord.gg/Aucncz5>

Discord 日本語コミュニティ: <https://discord.gg/tsTUwhs>



V1.5